

令和 7 年 12 月 1 日

各 位

井 上 春 成 賞 委 員 会
委 員 長 橋 本 和 仁

井上春成賞候補技術推薦のご依頼

拝啓 寒冷の候、ますますご清栄のことお喜び申し上げます。

「井上春成賞」は、科学技術振興機構の前身の一つである新技術開発事業団の初代理事長であり、工業技術庁初代長官でもありました故井上春成氏がわが国科学技術の発展に貢献された業績に鑑み、昭和 51 年に創設された賞であります。

本賞は、大学等や研究機関などの独創的な研究成果をもとにして企業が開発し企業化した優れた技術について、研究者及び企業を表彰することを目的としており、皆様のご協力により創設以来すでに 108 件の顕彰を行っております。

今般、井上春成賞委員会は、第 51 回（令和 8 年度）井上春成賞表彰のための候補技術を下記により募集することといたしました。つきましては、表彰候補として適当と思われるものをご推薦いただくとともに、あわせて本募集につきまして関係方面に広くお知らせくださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

- | | |
|---------|--|
| 1. 募集期間 | 令和 7 年 12 月 1 日（月）から令和 8 年 2 月 27 日（金）まで
推薦書については電子データで令和 8 年 2 月 27 日（金）正午必着
推薦書原本及びその他の資料は郵送にて同日消印有効 |
| 2. 表彰件数 | 原則として 2 件 |
| 3. 授賞者 | 原則として、表彰対象技術ごとの研究者 1 名および企業代表者 1 名 |
| 4. 贈呈式 | 令和 8 年 7 月 23 日（木） |
| 5. 表彰内容 | 表彰対象の研究者 ・ 賞状 ・ 賞牌 ・ 研究奨励金 200 万円
表彰対象の企業 ・ 賞状 ・ 賞牌 |
| 6. 主催機関 | 井上春成賞委員会 |
| 7. 共催機関 | 国立研究開発法人科学技術振興機構 |
| 8. 後援機関 | 一般財団法人新技術振興渡辺記念会 |

以上

添付書類

- (1) 井上春成賞候補技術の応募要項
- (2) 井上春成賞表彰技術の選考の考え方
- (3) 推薦書記入要領
- (4) 井上春成賞候補推薦書様式
- (5) 井上春成賞表彰技術ならび受賞者一覧

[参 考]

井上春成賞委員会の構成

委員長	橋本 和仁	国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長
委 員	岩渕 明	前 岩手大学 学長 (現 名誉教授)
〃	梶原ゆみ子	内閣府 科学技術・イノベーション会議 有識者議員
〃	下田 隆二	一般財団法人新技術振興渡辺記念会 専務理事
〃	西本 清一	公益財団法人京都高度技術研究所 理事長 地方独立行政法人京都市産業技術研究所 理事長
〃	馬場 俊彦	横浜国立大学 工学研究院 教授
〃	濱口 道成	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター センター長 前 国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長
〃	原山 優子	国立研究開発法人情報通信研究機構 GPAI 東京専門家支援センター センター長
〃	松永 道隆	NHK 大阪放送局 コンテンツセンター2部 副部長
〃	光石 衛	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 理事 日本学術会議 会長
〃	美馬のゆり	公立はこだて未来大学 教授 日本学術会議 会員
監 事	菅谷 行宏	株式会社アイ・エス・シー 取締役
〃	山田 理恵	東北電子産業株式会社 代表取締役社長

井上春成賞選考委員会の構成

選考委員長	西本 清一	公益財団法人京都高度技術研究所 理事長 地方独立行政法人京都市産業技術研究所 理事長
-------	-------	---

- * 選考委員会は委員長を含め14名の委員で構成され、委員の氏名は表彰技術決定後に公表いたします。